

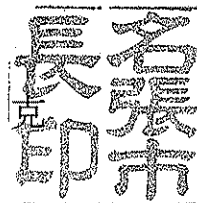


名建政 第 16 号

平成19年5月 / 日

国土交通省道路局長 様

名張市長 亀井 利克



今後の道路整備について

平成19年4月2日付で依頼されました、今後の道路整備の方針について、別紙のとおり提出します。

今後の道路整備について

1. 名張市の都市構造

名張市は、近畿圏と中部圏のほぼ中間に位置し、両圏域の交流結節点として重要な役割を担う必要があることから、広域的な連携を図るため高規格道路へのアクセス機能の強化を図る必要があります。

また、市域の都市構造は、中心市街地を取り囲むように大規模な住宅地が立地し、さらに集落が点在する分散型の構造となっているため、中心市街地の都市機能の向上を図るとともに、中心市街地を核として地域相互を有機的に結ぶことにより、連携型の都市構造への転換を進めます。

2. 道路の整備状況

昭和40年代からの大規模な住宅地の開発を契機として、名張駅をはじめとする中心市街地へのアクセス機能の向上を図るため、幹線道路網の整備に重点的に取り組んできました。

国道368号の改修や県道の整備が計画的に進められ広域的な交流がより深まるとともに、都市計画道路の整備や住宅地開発及び土地区画整理事業の面的な整備により、幹線道路網は効率的に整備され、中心市街地へのアクセス機能と市民生活の利便性は大きく向上しました。

しかしながら、将来の都市像を実現するうえで、広域的な連携の強化や市内の地域間を結ぶ道路ネットワークは、まだまだ十分ではなく、今後も関係機関と連携を図りながら、幹線道路網の整備を促進していく必要があります。

また、市民生活に最も密着した生活道路である一般市道の整備については、地域からも多くの要望が出されており、限られた財源の中で年次的に推進していくとともに、局部改良等による既存道路の有効活用や適切な維持管理を含め、効率的に取り組んでいく必要があります。

3. 今後の道路整備方針

1) 広域道路網の整備

名阪国道は、名張市にとって近畿圏と中部圏を結ぶ大動脈であり、広域的な連携を促進するため、高規格道路としての整備を推進していきます。

また、国道165号と国道368号は、市内の都市軸であるとともに、名阪国道をはじめとする広域道路網へのアクセス道路として重要な路線であり、機能の強化を図る必要があります。

- ・名阪国道の高規格化
- ・名阪国道へのアクセス機能の向上（国道368号の4車線化）
- ・名阪国道のバイパス整備（国道165号の改修）

2) 市内道路網の機能強化

広域道路網の整備や三重県の「新道路整備戦略」との整合を図り、国の補助制度を有効に活用しながら、中心市街地の都市機能の向上と地域間を連絡する幹線道路網の整備を促進します。

また、市民生活に密着した一般市道については、既存道路の改修や有効活用を含め、「つくる」から「つかう」ことに重点を置き、整備指標に基づき計画的かつ効率的な整備を図ります。

- ・市内幹線道路網の整備
- ・バリアフリー化の推進
- ・ストックの有効活用
- ・整備指標による優先順位の検討

3) 地域が参画する道づくり

道路は、市民生活を支える根幹的な施設であり、市民が快適に利用でき、道路に愛着を持てるような、魅力ある空間を整備していく必要があります。

地域との適切なパートナーシップにより、地域等への作業委託や地域活動の支援を通じて、地域の自主性と創意工夫を活かした道づくりを進めます。

- ・地域等への作業委託
- ・里親制度の取り組み
- ・地域の道路美化活動等への支援